



学校だより

【教育目標】 学ぶ心 思う心 挑む心

令和7年度 第4号

神林中学校(☎66-5313) 令和7年7月24日

夏休みの意味は？（1学期終業式より）

学校には、時間を3つに区切る習慣があります。中学校は3年間です。そして、1年間は3つの学期に分かれています。時間は一定のスピードで流れていて、止めることも早送りすることもできません。でも、節目をつくることで、今までを振り返り、目標や見通しをもち、しっかりと前進、成長してほしいという意味が込められています。三段跳という競技では、一瞬で3歩を飛んでしまうように見えますが、ホップ（1歩目）が終わったあと、次のステップ（2歩目）に移るまでの着地の瞬間の動作が、ステップの飛び方、そして、最後のジャンプ（3歩目）までを決めてしまいます。夏休みは、1学期のホップのあと着地し、次のステップへ向けて踏み切る準備の時間にあたります。ホップとステップの間の着地の時間（夏休み）は何をすれば良いのでしょうか。私は3つの意味があると思います。

1 今までの頑張りを振り返る。次へ向けてリセット。

まず、ホップ（1学期）で高く、長く飛んだ軌跡を振り返ることで、1学期うまくいったことだけではないと思います。無理していたこともあったかもしれません。まず、ここまで頑張った自分を「よくやった。」と褒めてあげてください。また、1学期のプリントや忙しくて片付けていない所を整理したり掃除したりして、身の回りをリセットしましょう。そして、新学期を気持ちよくスタートできるように準備し、整頓しておきましょう。

2 体制を整える。充電する。

この着地では、傾いていた体制を整えたり、力を蓄えたり、次の踏み切りへ向けて準備したりする時間でもあります。まず、2学期のスタートに備えて土台となる体調をしっかりと整えましょう。しっかりと食べて、しっかりと寝て、適度に身体も動かしてください。そして、自分の時間・落ち着いた時間を大切にしっかりと充電してください。1番大切なのは、生活のリズムを大きく崩さないことです。新学期、「起きるのが辛い。」「勉強するのが面倒くさい。」と、マイナスからのスタートにならないように、健康な生活と余暇、学習を含めたリズムを整えておきましょう。

3 次のスタートへ目標を立てる。

着地は次の踏み切りにつながっています。次はどこまで飛ぶのか、どんなふうに飛ぶのか目標を決め、次のジャンプの形を決めます。皆さんも1学期の自分を振り返り、2学期に力を入れたいことや学年の終わりにどんな姿になりたいか考えてみる時間をとってください。そして、夏休みの課題をやる中で、今まで学習したことを確認し、自分が苦手だったところを少しでも分かるよう努力してみましょう。この復習が次のスタート（Ⅱ期テスト）への準備になります。

三段跳では、下を見ずに、背筋を伸ばし、しっかりと前を向いて力強く踏み切ることが大切です。

一人一人が、自分の未来へ向けて胸を張り、しっかりと踏み切る。そのための準備の夏休みを大切に過ごしてほしいと思います。

夏休み～9月の予定

7月 28～29日 夏休み学習会 未来塾
 29 火 オプンスクール（村上桜ヶ丘）
 30 水 オプンスクール（新潟商業、新発田商業、中条）
 31 木 オプンスクール（新潟商業、新発田農業）

8月 5～7日 広島派遣事業
 8 金 オプンスクール（北越）
 8～17日 諸活動なし
 20 水 わたしの主張 村上岩船大会
 25～26日 夏休み学習会 未来塾
 25～27日 大阪万博派遣
 29 金 2学期始業式、発育測定

9月
 1 月 テスト前部活休止（～9/9）
 8～9日 Ⅱ期テスト
 10 水 オプンスクール（村上）
 13 土 PTA環境整備活動
 16 火 生徒会専門委員会 45分授業
 17 水 体育祭予行
 18 木 体育祭準備
 19 金 体育祭
 20 土 塩谷祭
 22、24 体育祭予備日
 26 金 英語検定



3学年PTAレクリエーション・高校説明会

6月27日(金)、2時間目から4時間目の時間を使って3学年PTAの企画による親子レクリエーション大会が行われました。昨年に引き続き生徒・保護者対抗ソフトバレーボールを行いました。保護者だけでチームを作り、生徒チームと一緒にリーグに入って戦いました。昨年の雪辱を果たそうと、生徒も保護者も本気で対戦しました。笑顔と歓声があちこちで見られ、本気で楽しむことで1学期を締めくくり「受験の夏」へ向かう覚悟を決めるレクリエーションとなりました。



また、レクリエーションのあと、午後、3年生高校説明会を実施しました。下越地区の6校の高等学校の先生をお招きし、各校の特色や生徒の活躍の様子をお話いただきました。各校10分程度の説明でしたが、生徒は、真剣に話を聞いていました。

1学期が終了し、最後の夏休みを前に、これから進路選択への準備が本格的に始まります。自分だけの未来へ向けて、高校そしてその先の自分の道をどう選ぶか、自分が決めるときです。

開会に「100%幸せになる学校はない。」という話をしました。どんな高校も、頑張る生徒を支えますが頑張るのは生徒です。必ず乗り越えなければいけない場面があり、だからこそ成長していくのです。進路の最終選択まであと5ヵ月ほどあります。たくさんの学校のことを知り、自分だけの進路を自分の意志で選択してほしいと願っています。

2年生救命救急講習

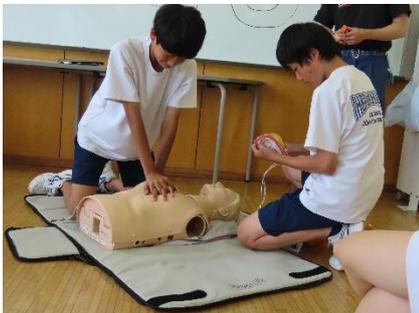
7月1日(火)、2年生が村上市消防本部の方を講師に救急法講習会を行いました。はじめに、緊急時に出来ること、救命措置の意味やその重要性、具体的な方法について説明していただき、その後、グループに分かれて心臓マッサージとAEDの使い方の実技講習を行いました。はじめて、心肺蘇生法の講習を受けた生徒たちは心臓マッサージの押し方やテンポなど、人の



命をつなぐ大切な動きに緊張感をもって取り組んでいました。一人2分間心臓マッサージを続ける講習では、汗ばみながら、その大変さを実感していました。

中学生は大人に近い体力や思考力を持ち、非常の際の重要なスタッフになり得ます。救命救急法の講習等を通して命を守る方法を身に付け、いざというときに家族や地域の命を守れる、たくましい生徒になってほしいと願っています。

中学生は大人に近い体力や思考力を持ち、非常の際の重要なスタッフになり得ます。救命救急法の講習等を通して命を守る方法を身に付け、いざというときに家族や地域の命を守れる、たくましい生徒になってほしいと願っています。



1年生 海岸清掃

7月2日(水) 1学年生徒が塩谷海岸の清掃活動を行いました。この活動は神林中学校開校前の平林中から続く活動です。今年は本格的な夏の天気及早くからやってきて、当日も昼前から30℃を越す猛暑の中でしたが、浜辺に吹く風が心地よい天候の中での活動でした。

生徒は、約1時間かけて砂浜を歩きながら、プラスチックや空き缶などのゴミを拾いました。地域の豊かな自然に触れ、自分たちの力でその自然に貢献する活動を通して、地域とのつながりを実感する活動でした。



1年防災教育

7月3日(木)に1年生の防災学習を行いました。1年生は水害を想定したマイタイムラインの作成を行いました。地域の防災士の皆様や、村上市役所の危機管理室の方、神林支所の皆様に講師をお願いしました。はじめに、水害の恐ろしさや危険な場所、情報の収集の仕方などについてのお話を聞きました。その後、ハザードマップを手元に置きながら自分が住む地域の特徴や危険度、避難場所の確認をしました。そして、グループで避難完了をゴールにした必要な動き「マイタイムライン」を考えました。そして、「インターネットで川の水位を確認する。」「避難所についての情報を確認する。」「お年寄りなどに避難を呼びかける。」「逃げやすい服装に着替える。」などの行動を書いた短冊を場面毎に並べていきました。グループの生徒同士で、「これはもっと先にしなければ。」「この行動はおかしいんじゃない。」などの声をかけながら、活発に意見交換していました。避難時にしなければいけないことは、なんと



なく分かっていたかもしれませんが、刻々と迫る避難開始に向けて、情報を収集し、判断し、動き出す。その重要さを実感できたのではないのでしょうか。最後に講師の方から「水害は予測できる災害です。状況を把握して、確実に避難することで、自分の命も周りの命も守ることが出来ます。」というお話を、生徒は真剣に聞いていました。



3年防災教育

7月22日(火)3年生が避難所設営をテーマに防災教育を行いました。岩船中学校の生徒と一緒に14のグループに分かれ、グループ毎に避難所の運営のシミュレーションをするという活動でした。次々に登場するカードに書かれた避難者の避難場所を指定したり、物資の運搬やアクシデントに対応したりします。避難する人の事情や避難所の構造などにあわせて瞬時に判断しなければならない活動でした。



その後、グループ毎に段ボールベットのトラックから運び出し体育館で組み立てました。



神林中学校は村上市の指定避難所に指定されており、災害時に避難者を受け入れると共に、その後の避難生活をする場にもなります。このような、避難所の設営や運営に係わる体験を積んだ生徒たちは、能登半島地震の時と同様に、実際の避難時に見通しをもった行動ができます。家族や他の避難者を導き、安心させ、運営に協力して、自助、共助に力を発揮してくれるのではないかと思います。

体育祭へ向けて 軍団が決定しました。



今年の体育祭は9月19日(金)に行われます。まだ2か月以上先ですが7月3日(木)の朝、体育祭結成式が行われました。各クラスの代表が、ペットボトルフリップ、腕相撲、じゃんけんで勝負し、勝ったクラスから赤青どちらかの絵の具が仕込まれたペットボ



トルを振って各学年の1, 2組の軍団の色が決定しました。今年の青軍は、1年1組、2年1組、3年1組。赤軍は、1年2組、2年2組、3年2組 となりました。また、その後、団長同士のじゃんけんで陣地(応援席の位置)と応援順が決まりました。

いよいよ体育祭への活動がスタートしました。これから、スローガン、種目、応援内容、パネルのデザインなどが決定され、本格的に準備が進められます。



3年生 保育実習

7月9日(水)3年生の家庭科の学習の一環で、保育園実習を行いました。学区内の向ヶ丘保育園、みのり保育園に3年生が訪問しました。

生徒が希望した年齢のこどもたちに向けて、事前に準備した手作りのおもちゃなどをもって訪問しました。妹や弟など小さなこどもと遊んだ経験のある生徒もいますが、小さなこどもと触れ合う機会が少ない生徒もいます。年齢と共にどんな発達をして、どんなことに喜んだり、どんな遊びが出来るようになったりするのかが、実際に触れ合うことで幼児の発達について学ぶことが目的でした。



生徒は、保育園のこどもたちの熱烈な歓迎に少し驚きながらも、こどもたちを喜ばせようと一生懸命活動し、穏やかで優しい笑顔があちこちで見られました。園を離れるときには園児とハイタッチしたり、だっこしたりと名残を惜しんでいました。見送りに出てくれた園児の中には涙を流す姿もあり、中学生にとっても園児の皆さんにとっても充実した時間だったことが分かりました。貴重な体験を受け入れてくださった両保育園の皆様にご心より感謝いたします。

3年生 思春期についての講演会

7月17日(木)の5、6時間目、3年生の生徒を対象に性に関する講演会を実施しました。講師に長岡市で助産師・思春期保健相談士をされている酒井由美子様をお招きしました。酒井様は、命のかけがえのなさ、大切さを伝え「性」についての正しい理解のために助産師業務の合間を縫って小、中、高校生やその保護者を対象とした講演活動をされている方です。「思春期を大切に過ごすために」という演題でお話いただきました。生徒は、医学的、科学的なデータや実際の事例についてのお話しに真剣に聞き入り、自分のこととして考えていました。講演後の感想では「自分の身体や命に関わることは、しっかりと判断することが大切だと思いました。これから大人になって自分の行動に責任をもちたいです。」「自分が今動けて、話せて友だちと居れるのは両親のおかげだと改めて知れた。命は決して買えないし一生分の宝物。私はこれから自分のことは自分で責任がとれるようになってから頑張っていきたい。今は中学生らしくたくさん遊んで、勉強して、元気で、周りに困っている人がいたら相談にのってあげることができる人になりたい。」というような言葉がありました。



夏休み前、神中生徒の活躍

7月の1～3週の週末、新潟県総合体育大会が開かれました。神林中学校は、水泳競技、陸上競技、ソフトテニス、野球に出場した生徒がいます。結果は下記のようになりました。県大会の壁は厚く手強い相手が多かったようですが、最後の最後まで自分の力を出し切り、神林中の代表そして下越地区の代表としてベストを尽くしてくれました。出場した皆さん本当にお疲れ様でした。

また、吹奏楽部は7月20日(日)に新潟テルサで行われた下越吹奏楽コンクールに出場しました。

独特の雰囲気と緊張感の中、新潟テルサのホールに神林中の演奏が響き渡りました。結果は銅賞でしたが、今までの練習の中で、部員みんなで積み重ねた努力、様々な方への感謝、演奏に込められた思いが伝わってくる素晴らしい演奏でした。これで、夏の大会が終了しました。一つ一つの試合や発表会にしっかり向き合い、乗り越えていく姿に神中生の成長と底力を感じました。



県総体出場選手結果

- 陸上 女子共通リレー予選8位 女子走幅跳17位 小野緑日 男子走幅跳32位 小池明日夢
- 水泳 女子100m平泳ぎ予選25位 50m自由形予選27位 田中佑奈 50m自由形予選32位 小田あかり
- ソフトテニス(きらら村上) 女子団体戦 VS 宮内中 0-3勝 準々決勝 VS 新潟 UCHINO 2-0惜敗
女子個人 小田茉莉菜 2回戦惜敗
- 野球(新潟 North) VS 巻クラブ 1-4勝 準々決勝 VS YBC 1-0惜敗